

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和2年5月28日(2020.5.28)

【公開番号】特開2019-203710(P2019-203710A)

【公開日】令和1年11月28日(2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-048

【出願番号】特願2018-97124(P2018-97124)

【国際特許分類】

G 0 1 S 19/22 (2010.01)

【F I】

G 0 1 S 19/22

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月20日(2020.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両に搭載されて用いられるGNSS受信装置(1, 101)であって、
少なくとも1つのアンテナ(21, 21a, 21b, 51)を含み、所定の指向性で受信を行う第1受信モードと、指向性が前記第1受信モードよりも高仰角である第2受信モードと、の2つの受信モードを実現可能に構成されたアンテナ部(11)と、
当該GNSS受信装置の周囲の環境が、マルチパスが発生する蓋然性が高い環境であるマルチパス環境であるか否かを判定するように構成された判定部(41)と、
前記判定部により前記マルチパス環境であると判定されていないときは、前記アンテナ部を前記第1受信モードとする一方、前記判定部により前記マルチパス環境であると判定されているときは、前記アンテナ部を前記第2受信モードとするように構成された設定部(42)と、を備え、
前記判定部は、低仰角のGNSS信号の割合又はその割合の変化に基づいて、前記車両の周囲の環境が前記マルチパス環境であるか否かを識別するように構成されている、GNSS受信装置。

【請求項2】

請求項1に記載のGNSS受信装置であって、
前記少なくとも1つのアンテナの仰角及び方位の位相ずれを、当該アンテナ固有の補正パラメータを用いて補正するように構成された補正部(43)を備える、GNSS受信装置。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載のGNSS受信装置であって、
前記判定部は、前記マルチパス環境である地図上の範囲として予め定められた範囲に当該GNSS受信装置が位置する場合に、前記マルチパス環境であると判定するように構成されている、GNSS受信装置。

【請求項4】

請求項1から請求項3のいずれか1項に記載のGNSS受信装置であって、
前記判定部は、前記車両の外部を撮影可能に構成された撮影部の撮影画像を取得し、前記撮影部の撮影画像に基づいて、前記車両の周囲の環境が前記マルチパス環境であるか否かを識別するように構成されている、GNSS受信装置。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の G N S S 受信装置であって、
前記アンテナ部は、前記少なくとも 1 つのアンテナとしてパッチアンテナ (2 1 , 2 1
a , 2 1 b , 5 1) を備える、G N S S 受信装置。